

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,198,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,412.06㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,975	13,337	16,448	13,216	15,551
	移動児童館利用者数	389	552	662	392	642
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	6	7	10	5	12
	開館日数(単位:日)	157	152	157	151	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正規職員(1名)、嘱託職員(1名)。 ③児童センターのお知らせ「あそぼつけ」・「幼児版あそぼつけ」・「回覧版あそぼつけ」の発行・配布、児童センターホームページ掲載。 ④ご意見に対する回答を館内の掲示板に掲示した。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、③適切に実施。 ②おもちゃの点検・消毒の実施。安全で清潔な環境づくりに努めている。 ③利用者不在時の消灯、節電・室温の調整に努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②適切に実施。扉等の不具合を職員、また指定管理者(法人)と協力し修繕。その他、おもちゃ病院を活用。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③問題なく履行されている。 「危機管理マニュアル」、「岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程」等に沿って適切に実施。防災訓練毎月実施。避難訓練実施。警察官等による定期的なパトロールの実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年6月29日～7月13日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数55人(回収率95%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブ 満足46人(84%)、ほぼ満足9人(16%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%) ○職員 満足53人(97%)、ほぼ満足2人(3%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%) ○施設 満足36人(65%)、ほぼ満足17人(31%)、やや不満1人(2%)、不満0人(0%)、未回答1人(2%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 クラスを選択できると良い ⇒月齢に合わせてクラス分けしている。 新しい活動をしてみたい ⇒希望されるテーマ等を出していただくと助かります。 もっと回数が多いと良い ⇒少しでも多くの方に参していただくための方法です。 遊戯室にエアコンをつけてほしい ⇒今年度中に設置予定です。 ・その他意見 楽しくて親子ともども満足しています。家ではできないダイナミックな遊びができて楽しかった。職員が笑顔で接してくれてうれしい。子どもの名前をすぐに覚えてもらい、顔をみかけたらすぐに名前を呼んでもらえる。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的能力を有していること	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>前期下半期より、小学生利用増に向けての取組みが、ようやく数値の上昇という結果を表してきた。これは、小学生に照準をあてた遊具の充実や新しい遊びの提供が要因の一つと考えられる。幼児クラブは、定員を倍増することで希望者全員が登録できるというメリットがあった。アンケートでも満足度が前期より上昇しており、未就園児を持つ利用者の要望に合わせた事業が好評であることが、その要因と思われる。0歳～18歳の児童やその保護者を対象とした毎月1回行っている子育て相談は、利用状況も好調で、気軽に相談できる地域の相談場所として定着してきている。主任児童委員との連携により、関係機関との関係も良好で、引き続きこの体制を継続していく。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>前期のモニタリングで指摘のあった利用者増の対策として、運営委員会でも提案を受けた紙ベースの広報活動に取り組んだ。対象者の年齢を、紙面においてわかりやすく構成し、実施している事業を回覧という形で一戸一戸の地域住民の目に止まりやすくした。今後、範囲を広げた広報活動に取り組む予定である。</p> <p>アンケートで毎回要望のある遊戯室のエアコンがようやく設置される予定である。居住環境の充実が来館促進にも影響を与えることは、猛暑でもあった今年の夏の利用者数からも予測される。アンケートで最も満足度の高い人的環境（職員の接し方、態度）は、今後も真摯な態度で維持しつつ利用者増に貢献したい。</p>
今後の取組み	<p>主任児童委員他関係機関との情報交流会の継続とともに、その内容充実のために協議を重ね、担当する地域の子育て支援や児童健全育成等の従事者相互の協議内容充実に貢献したい。</p> <p>移動児童館の実施については、地域に対しても継続して発信を続け積極的な取り組みを図りたい。広報活動においても、工夫を凝らし、移動児童館の依頼や提供が伸びるよう努力していきたい。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより配布・ホームページ掲載等による広報活動を実施。</p> <p>紙ベースの広報活動に取り組んだ。対象者の年齢を、紙面においてわかりやすく構成し、実施している事業を回覧という形で一戸一戸の地域住民の目に止まりやすくするよう改善した。</p> <p>育てにくい子どもを抱え、子育てに不安を感じ、個別の支援が必要な家庭を支援するため、毎月専門の講師を招き子育て相談を開催、図書・遊具の充実を図り利用しやすい配置等の工夫を行った。</p> <p>事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>地元の関係機関との交流や地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、地域に貢献した。</p> <p>定期的に主任児童委員他関係機関との情報交流会を継続して実施していることは他館にない取り組みであり、地域における子育て支援関係機関ネットワークの核として地元への貢献度も高い。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>なお、広報の方策として、岐阜市の子育て支援サイトである「ぶりあネット」の活用も検討していただきたい。</p>
